

IBM Cloudant for IBM Cloud

以下に記載される場合を除き、「IBM クラウド・サービス記述書」の条件が適用されます。

1. クラウド・サービス記述書

IBM Cloudant for IBM Cloud は、NoSQL の DBaaS (database as a service) です。このサービスは、JSON 文書の保管およびインデックス作成用のオペレーショナル・データ・ストアであり、読み取りおよび書き込みを同時に処理できます。HTTP API により、アプリケーションから JSON 文書の「取得」、「書き込み」、「インデックス作成」および「照会」ができます。

2. コンテンツおよびデータ保護

このサービスに適用される「データ・シート」および本条の条件には、このサービスの使用についての詳細および条件が規定されています。これには、お客様の責任が含まれます。以下の「データ・シート」が本サービスに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=2EBB5860B34311E7A9EB066095601ABB>

2.1 クラウド・サービスの有効期限

お客様が「クラウド・サービス」の終了後にサニタイズに関する NIST 標準に合わせてコンテンツを削除するよう要求する場合、お客様は、「クラウド・サービス」を取得する際に専用の Cloudant Instance を要求しなければなりません。

2.2 医療データに関する制限事項

本項の条件は、以下のオフファリングに適用されます。

- IBM Cloudant for IBM Cloud Dedicated Hardware Option

2.2.1 HIPAA

「1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令」(以下「HIPAA」といいます。) および本「クラウド・サービス」で「医療情報」および「医療」データを「個人データの種類」および「個人データの特殊カテゴリー」(以下総称して「医療データ」といいます。) またはそのいずれかの許可される使用に関して、本「クラウド・サービス」の「データ・シート」に記載された情報にかかわらず、本「クラウド・サービス」による「医療データ」の使用には以下の制限事項および条件が適用されます。

上記のオフファリングに限り、お客様が IBM に、お客様が「クラウド・サービス」で「医療データ」を使用することを事前に通知し、IBM が書面により、「クラウド・サービス」が「医療データ」の使用のためにプロビジョニングされることを確認した場合に、「医療データ」の使用に対して「HIPAA プライバシーおよびセキュリティー規則」の制御が実現されるようにプロビジョニングすることができます。したがって、「クラウド・サービス」は、HIPAA に基づいて保護されている「医療データ」の伝送、保管、またはその他の使用のために使用することはできません。ただし、(i) お客様が IBM にかかる通知を提供する場合、(ii) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (iii) IBM がお客様に「クラウド・サービス」を「医療データ」と併用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。

いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「PHI」を処理するために「クラウド・サービス」を使用しないものとします。

2.2.2 GDPR

一般データ保護規則、ならびに本「クラウド・サービス」での「医療」データの「個人データの種類」および「個人データの特殊カテゴリー」(以下総称して「医療データ」といいます。) またはそのいずれ

かとしての許可される使用に関して、本「クラウド・サービス」による「医療データ」の使用には以下の制限事項および条件が適用されます。

上記のオファリングに限り、お客様が IBM に、お客様が「クラウド・サービス」で「医療データ」を使用することを事前に通知した場合に、「医療データ」の使用に対して GDPR の制御が実現されるようにプロビジョニングすることができます。したがって、お客様が上記のとおり IBM に通知しなければ、「クラウド・サービス」は、GDPR に基づいて保護される「医療データ」を送信、保管、その他の用途で使用することはできません。

3. サービス・レベル・アグリーメント

「IBM Cloud サービス記述書」のほかに、本「クラウド・サービス」固有の「ダウンタイム」条件は以下のとおりです。

- エラーは、500 より大きいか等しい応答コードを持つ要求です。
- 「ダウンタイム」は、1 分間に行われた各要求がエラーを返すか、または当該クラスターが (IBM の標準モニタリング・ツールによって記録されているとおりに) 利用不可の場合に、蓄積された総時間 (分単位) になります。
- IBM Cloud Dedicated に含まれる Dedicated Cloudant Instance の場合、「ダウンタイム」には、要求率が毎秒 500 件の要求というピークを超えている間の時間 (分単位) は含まれません。

「可用性」は、課金期間の総時間数 (分単位) から蓄積された「ダウンタイム」の総時間数 (分単位) を差し引いて、課金期間の総時間数 (分単位) で除したもとして定義され、パーセントで表されます。

この表は、「IBM Cloud サービス記述書」に記載されている「サービス・レベル・アグリーメント」表に代わるものです。IBM は、以下に示すとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。Cloudant では複数の地域の SLA は提供されないことにご留意ください。

高可用性の複数の Public 地域または複数の Dedicated/Local 環境 可用性サービス・レベル	単一の Public 環境または単一の Dedicated 環境 可用性サービス・レベル	クレジット
N/A	99.95% 以上	0%
N/A	99% 以上、99.95% 未満	10%
N/A	95% 以上、99% 未満	25%
N/A	95% 未満	100%

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

以下の課金単位が本サービスに適用されます。

1 秒あたりのイベント – 「イベント」は、「クラウド・サービス」が処理する、または「クラウド・サービス」の利用に関連する、特定のイベントが 1 回発生することをいいます。お客様は、請求期間中に予約された「1 秒あたりのイベント」の数に対して課金されます。

ギガバイト - 月 – 「ギガバイト」は、2 の 30 乗バイトです。お客様は請求期間中の各月において「クラウド・サービス」で分析され、使用され、格納され、または構成された「ギガバイト」の値に対して課金されます。この際、端数は「ギガバイト」単位で切り上げます。

インスタンス – 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様は、請求期間中の各月の「クラウド・サービス」の各インスタンスに対して課金されます。

4.2 1 か月に満たない期間の料金

「ギガバイト - 月」、「1 秒あたりのイベント」、および「インスタンス」は、それぞれ 1 か月単位で請求されます。1 か月に満たないデプロイメントまたは使用は按分計算されます。